

天生希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・飛騨森林管理署
所在地	岐阜県飛騨市
面積	7.15ha
設定年	平成5年4月設定・平成30年4月変更
保護林の概要 (設定目的)	典型的な高層湿原が所在する。岐阜県ではここしか見られないホロムイソウ、ヒメシャクナゲ、ヤチスゲが分布することから保護を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査、高山植生等調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。森林詳細調査(高山植生等調査)として調査プロット(5m×5m)を2箇所設定し、プロット内に出現した種について、階層ごとに種名、被度・郡度を記録すると共に、プロット内の主要な種の分布状況を模式図で記録する。
結果概要	確認できた影響「ウ:外来種、カ:その他(陸化)」 概ね良好に保護・管理されている。 ただし、外来種の侵入情報があり、湿原というインパクトを受けやすい環境があることから、外来種に対する留意が必要と考えられる。 また、湿地の陸化が懸念される。 よって、引き続きモニタリングを継続することが適当である。